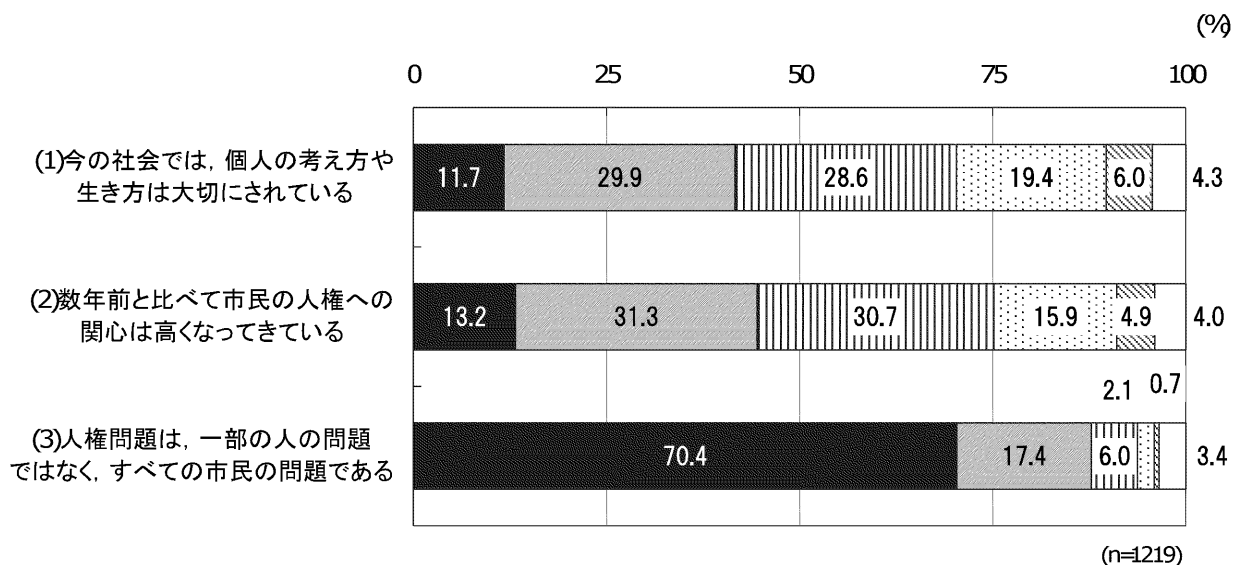


3 質問項目別調査結果

(1) 人権意識と教育・啓発について

問1 人権に関する次の(1)～(3)について、次のような意見があります。あなたはどのように思いますか？《○はそれぞれ1つ》



■ そう思う ■ ややそう思う ▨ どちらとも言えない ▩ あまりそう思わない ▤ そう思わない □ 不明・無回答

(1)今の社会では、個人の考え方や生き方は大切にされている

個人の考え方や生き方が大切にされていると考える人は4割強

「そう思う」が11.7%、「ややそう思う」が29.9%となっており、これらを合わせると41.6%となっている。

一方、「あまりそう思わない」19.4%、「そう思わない」が6.0%となっている。

前回調査は、「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合が38.2%であり、肯定的にとらえている人がやや多くなっている。

性別でみると、男性の方が個人の考え方や生き方は大切にされていると回答する割合が高くなっている。

(2)数年前と比べて市民の人権への関心は高くなってきている

人権への関心が高くなってきていると感じる人が半数を下回っている

「そう思う」が13.2%、「ややそう思う」が31.3%となっており、これらを合わせると44.5%となっている。

前回調査は、「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合が51.5%であり、人権への関心が高くなってきていると感じている人がやや減少している。

年代別でみると、70歳以上で関心が高くなってきていると回答する割合が高くなっている。

(3)人権問題は、一部の人の問題ではなく、すべての市民の問題である

人権問題をすべての市民の問題ととらえる人が9割近く

「そう思う」が70.4%、「ややそう思う」が17.4%となっており、これらを合わせると87.8%となっている。

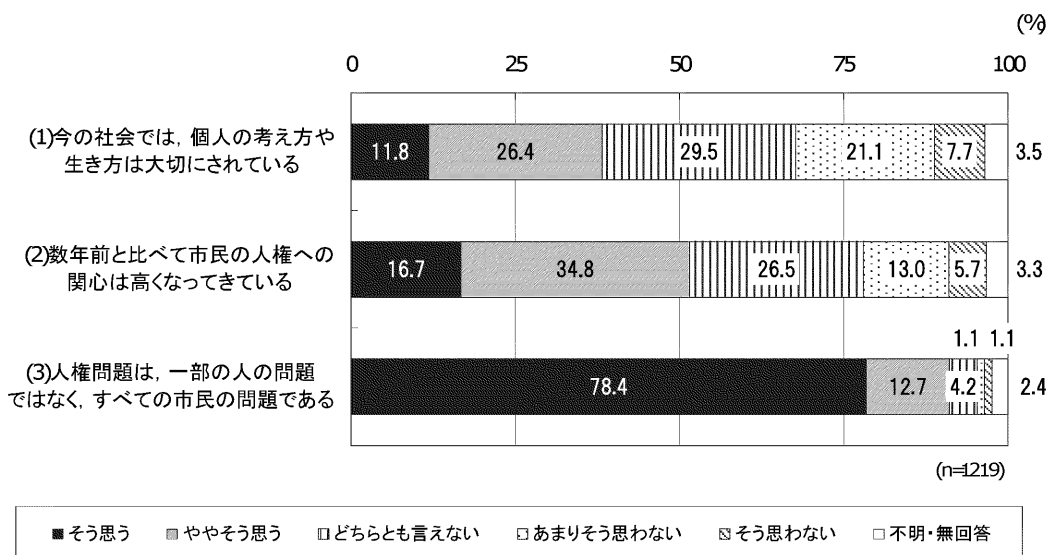
前回調査の結果と比較すると、「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合が91.1%であった。人権問題をすべての市民の問題ととらえる人がやや減少している。

年代別でみると、60歳代から70歳以上で人権問題はすべての市民の問題であると回答する割合が高くなっている。

参考

前回(平成17年調査)

『人権に関する次の(1)～(3)について、どのように思うか』



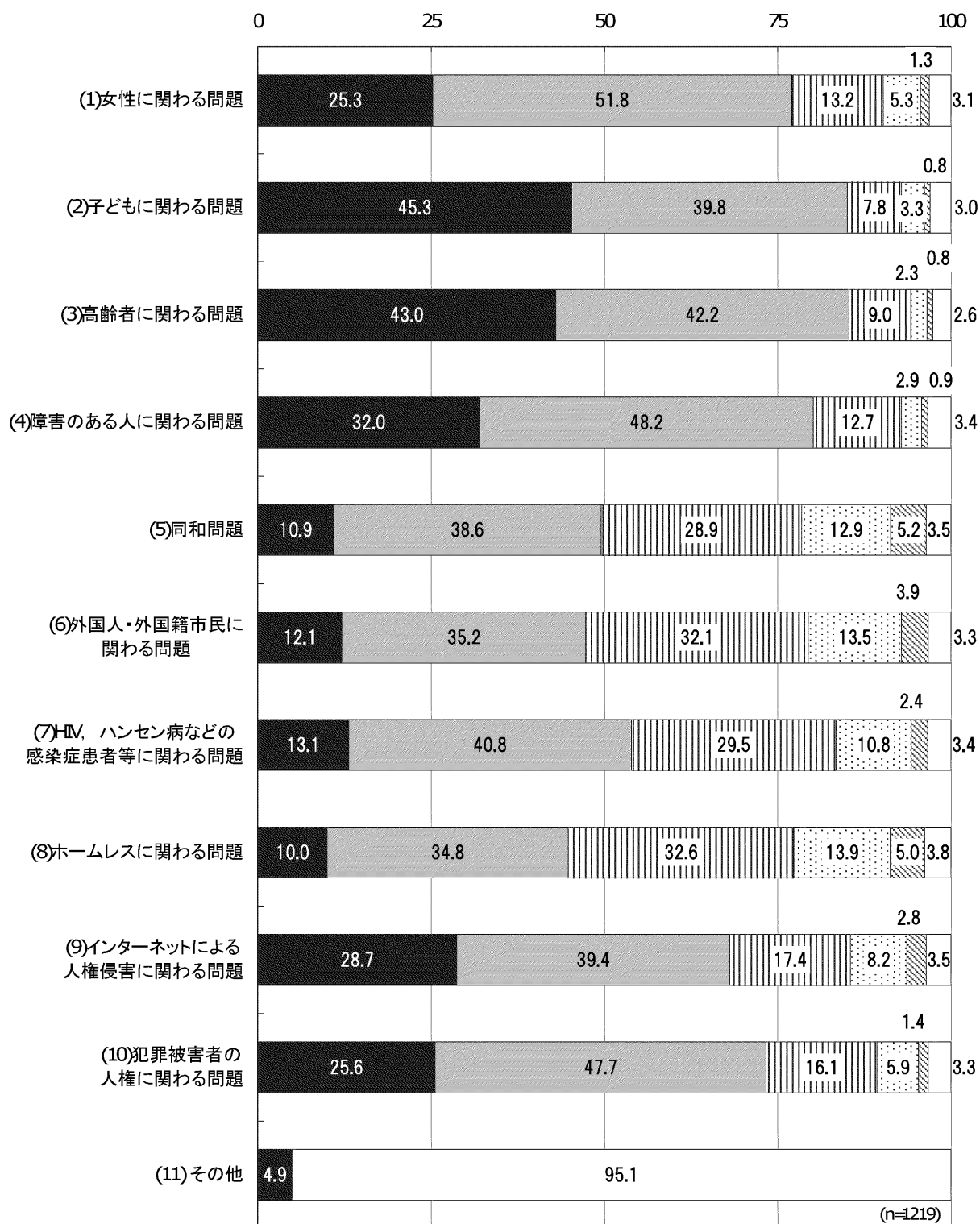
◆加重平均(性別・年代)

	男 (n=510)	女 (n=696)	20歳代 (n=108)	30歳代 (n=168)	40歳代 (n=182)	50歳代 (n=203)	60歳代 (n=270)	70歳以上 (n=281)	全体 (n=1219)
(1)今の社会では、個人の考え方や生き方は大切にされている	0.29	0.19	0.23	0.21	0.30	0.20	0.12	0.34	0.23
(2)数年前と比べて市民の人権への関心は高くなってきている	0.30	0.36	0.24	0.08	0.20	0.32	0.28	0.68	0.33
(3)人権問題は、一部の人の問題ではなく、すべての市民の問題である	1.58	1.63	1.55	1.59	1.53	1.59	1.63	1.67	1.60

※「そう思う」:2 「ややそう思う」:1 「どちらとも言えない」:0 「あまりそう思わない」:-1 「そう思わない」:-2 で算出

問2 下記の項目について、あなたは人権課題としてどの程度関心がありますか。
《○はそれぞれ1つ》

(%)



■ 非常に関心がある ■ ある程度関心がある □ どちらでもない □ あまり関心がない ▨ 全く関心がない □ 不明・無回答

子どもや高齢者に関わる問題への関心が高い

「(2) 子どもに関わる問題」、「(3) 高齢者に関わる問題」について、「非常に関心がある」と回答した人の割合が40%を超えており、関心が高くなっている。

また、「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」を合わせると70%を超えているのが、「(2) 子どもに関わる問題」、「(3) 高齢者に関わる問題」以外に、「(4) 障害のある人に関わる問題」、「(1) 女性に関わる問題」、「(10) 犯罪被害者の人権に関わる問題」となっている。

これら以外に、「(9) インターネットによる人権侵害に関わる問題」についても、比較的に関心が高くなっている。

性別でみると、「(1) 女性に関わる問題」、「(2) 子どもに関わる問題」、「(3) 高齢者に関わる問題」等で、女性の方が関心があると回答した割合が高くなっている。

年代別でみると、60歳代、70歳以上で、多くの問題について関心があると回答した割合が高くなっている。また、「(9) インターネットによる人権侵害に関わる問題」では、20～50歳代で関心が高くなっている。

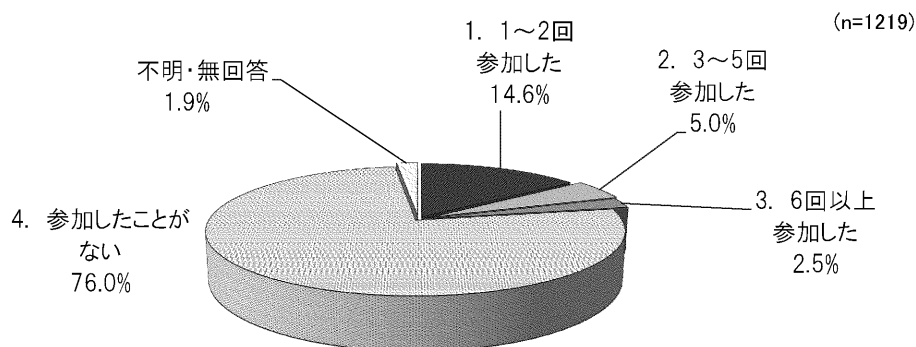
◆加重平均(性別・年代)

	男 (n=510)	女 (n=696)	20歳代 (n=108)	30歳代 (n=168)	40歳代 (n=182)	50歳代 (n=203)	60歳代 (n=270)	70歳以上 (n=281)	全体 (n=1219)
(1)女性に関わる問題	0.71	1.17	0.89	1.02	0.94	0.97	0.98	1.00	0.97
(2)子どもに関わる問題	1.19	1.36	1.14	1.31	1.24	1.17	1.39	1.38	1.29
(3)高齢者に関わる問題	1.13	1.38	0.77	0.98	1.08	1.25	1.47	1.62	1.28
(4)障害のある人に関わる問題	1.05	1.16	0.98	0.98	0.96	1.12	1.21	1.25	1.11
(5)同和問題	0.34	0.42	0.49	0.34	0.20	0.37	0.43	0.48	0.39
(6)外国人・外国籍市民に関わる問題	0.44	0.36	0.41	0.36	0.26	0.38	0.48	0.45	0.40
(7)HIV、ハンセン病などの感染症患者等に関わる問題	0.51	0.55	0.46	0.50	0.36	0.48	0.62	0.67	0.53
(8)ホームレスに関わる問題	0.29	0.34	0.29	0.21	0.10	0.26	0.45	0.48	0.32
(9)インターネットによる人権侵害に関わる問題	0.87	0.86	0.91	0.92	1.01	0.88	0.76	0.80	0.86
(10)犯罪被害者の人権に関わる問題	0.94	0.93	0.89	0.94	0.92	0.89	0.92	1.01	0.93
(11) その他	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00

※「非常に関心がある」:2 「ある程度関心がある」:1 「どちらでもない」:0 「あまり関心がない」:-1 「全く関心がない」:-2 で算出

問3 人権についての催しへの参加回数や、市民しんぶん等の記事への関心についてお尋ねします。《○はそれぞれ1つ》

(1) 市役所・区役所・学校で行われる講演会や研修会に



市役所・区役所・学校の講演会や研修会の参加者は2割を超える

「1~2回参加した」が14.6%、「3~5回参加した」が5.0%、「6回以上参加した」が2.5%と、参加したことがある人は合わせて22.1%となっている。また、「参加したことがない」は76.0%と8割近くになっている。

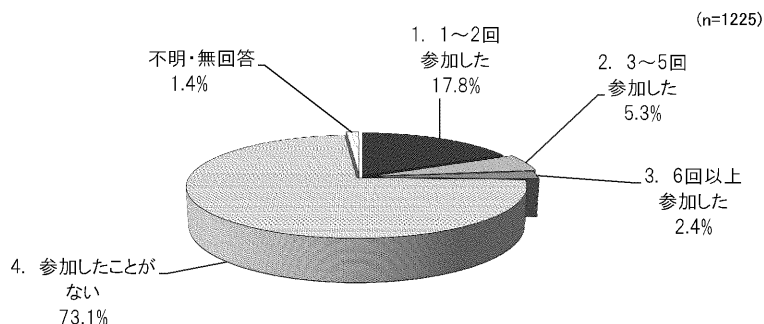
前回調査の結果と比較すると、参加したことがある人の割合が25.5%から、やや減少している。

性別でみると、女性の方が「参加した」との回答の割合が高くなっている。

年代別でみると、50歳以上の年代で「参加した」との回答の割合が高くなっている。

参 考

前回(平成17年調査) 『市役所・区役所・学校で行われる講演会や研修会に』

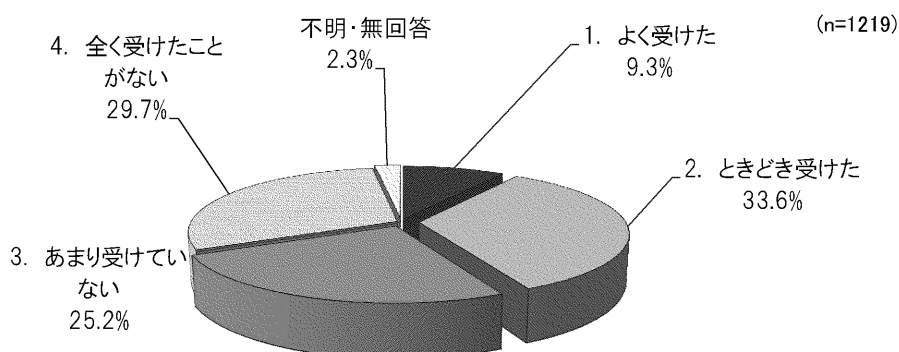


◆クロス集計(性別・年代)

(%)

	男 (n=510)	女 (n=696)	20歳代 (n=108)	30歳代 (n=168)	40歳代 (n=182)	50歳代 (n=203)	60歳代 (n=270)	70歳以上 (n=281)	全体 (n=1219)
1~2回参加した	12.5	15.9	4.6	9.5	12.1	11.3	19.3	21.0	14.6
3~5回参加した	3.5	6.2	0.9	3.0	3.3	5.9	5.6	7.8	5.0
6回以上参加した	2.0	2.9	1.9	1.8	1.6	3.9	2.6	2.5	2.5
参加したことがない	80.4	73.3	91.7	85.7	82.4	77.8	70.4	65.8	76.0
不明・無回答	1.6	1.7	0.9	0.0	0.5	1.0	2.2	2.8	1.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 学校（小・中・高）の授業や学級活動，特別活動での人権教育を

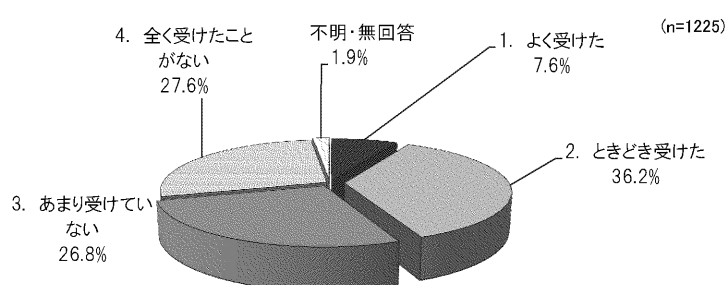


「人権教育を全く受けていない」と回答した人は約3割

「よく受けた」が9.3%、「ときどき受けた」が33.6%となっている。
 一方、「全く受けたことがない」は29.7%となっている。
 前回調査の結果と比較すると、人権教育を受けたと回答した人の割合がやや減少している。
 年代別でみると、20～40歳代で、「よく受けた」、「ときどき受けた」と回答した割合が高くなっている。

参考

前回(平成17年調査)『学校の授業や学級活動，特別活動での人権教育に』

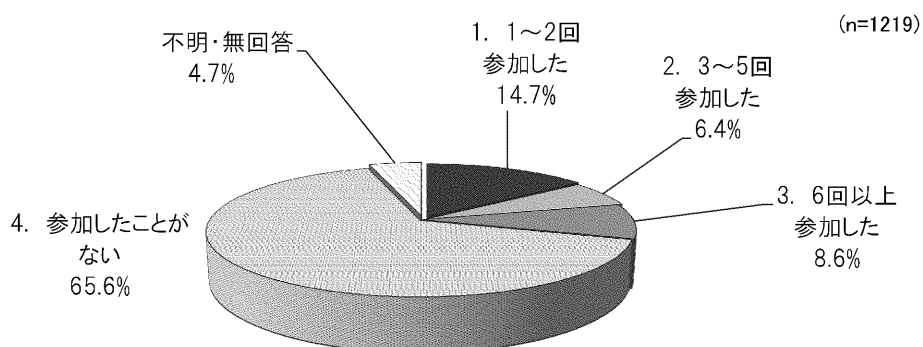


◆クロス集計(性別・年代)

(%)

	男 (n=510)	女 (n=696)	20歳代 (n=108)	30歳代 (n=168)	40歳代 (n=182)	50歳代 (n=203)	60歳代 (n=270)	70歳以上 (n=281)	全体 (n=1219)
よく受けた	7.5	10.8	24.1	15.5	14.8	7.9	4.4	2.1	9.3
ときどき受けた	32.2	35.2	57.4	53.6	47.3	36.5	19.3	16.0	33.6
あまり受けていない	24.3	25.9	9.3	16.1	22.0	26.1	37.4	27.0	25.2
全く受けたことがない	34.3	25.9	8.3	14.9	15.4	28.6	36.3	50.5	29.7
不明・無回答	1.8	2.3	0.9	0.0	0.5	1.0	2.6	4.3	2.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 職場で行われる研修会に



職場の研修会の参加者は約3割

「1~2回参加した」が14.7%、「3~5回参加した」が6.4%、「6回以上参加した」が8.6%となっており、参加した人の割合は、合わせて29.7%となっている。

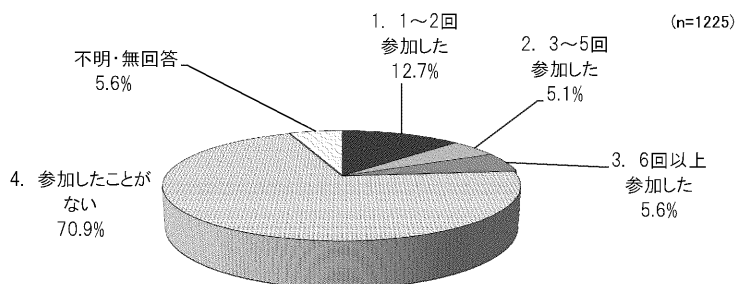
前回調査の結果と比較すると、「参加した」と回答した人の割合がやや増加している。

性別でみると、男性の方が「参加した」と回答した割合が高くなっている。

年代別でみると、50歳代以上の年代で「参加した」と回答した割合が高くなっている。

参 考

前回(平成17年調査)『職場で行われる研修会に』

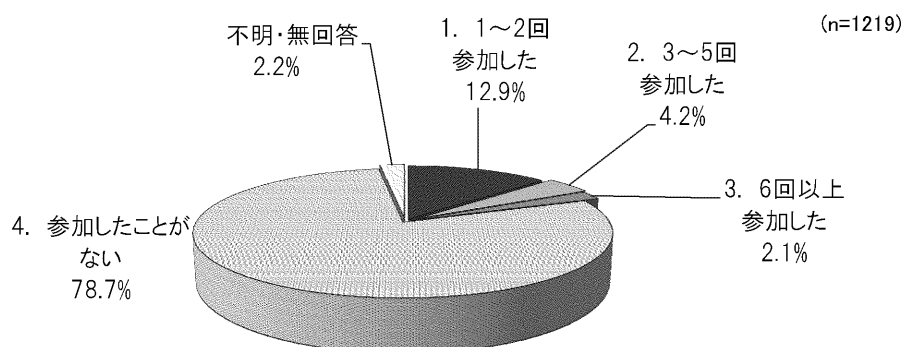


◆クロス集計(性別・年代)

(%)

	男 (n=510)	女 (n=696)	20歳代 (n=108)	30歳代 (n=168)	40歳代 (n=182)	50歳代 (n=203)	60歳代 (n=270)	70歳以上 (n=281)	全体 (n=1219)
1~2回参加した	17.6	12.6	23.1	11.9	8.8	16.7	15.2	15.3	14.7
3~5回参加した	9.0	4.6	0.9	8.3	8.2	3.9	8.9	5.7	6.4
6回以上参加した	11.4	6.8	0.9	10.1	10.4	12.8	9.6	5.7	8.6
参加したことがない	58.8	70.7	71.3	69.0	70.9	64.5	61.1	64.1	65.6
不明・無回答	3.1	5.3	3.7	0.6	1.6	2.0	5.2	9.3	4.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 市民グループや民間団体などによる講演会や研修会、催しに



市民グループや民間団体などによる講演会・研修会の参加者は約2割

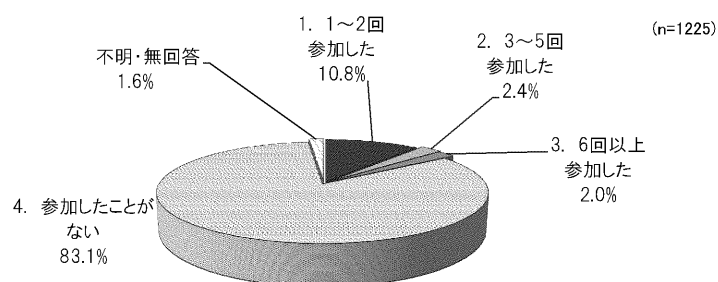
「1～2回参加した」が12.9%、「3～5回参加した」が4.2%、「6回以上参加した」が2.1%となっており、参加した人の割合は、合わせて19.2%となっている。

前回調査の結果と比較すると、「参加した」と回答した人の割合がやや増加している。年代別にみると、60歳代以上で「参加した」と回答した割合が高くなっている。

参考

前回(平成17年調査)

『市民グループや民間団体（世界人権問題研究センター）などによる講演会や研修会に』

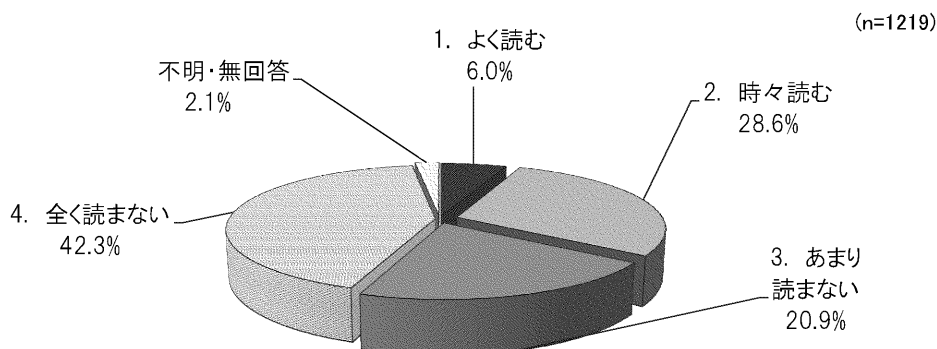


◆クロス集計(性別・年代)

(%)

	男 (n=510)	女 (n=696)	20歳代 (n=108)	30歳代 (n=168)	40歳代 (n=182)	50歳代 (n=203)	60歳代 (n=270)	70歳以上 (n=281)	全体 (n=1219)
1～2回参加した	12.2	13.1	3.7	5.4	9.9	11.3	19.3	18.1	12.9
3～5回参加した	3.5	4.7	0.0	4.2	1.6	3.0	2.2	10.3	4.2
6回以上参加した	2.2	2.0	0.9	2.4	0.5	2.0	3.7	1.8	2.1
参加したことがない	80.6	77.9	93.5	88.1	87.4	82.8	72.6	65.8	78.7
不明・無回答	1.6	2.3	1.9	0.0	0.5	1.0	2.2	3.9	2.2
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(5) 市民しんぶんの人権に関する記事や、人権情報誌「あい・ゆーKYOTO」、企業向け人権情報誌「ベーシック」を



読んでいる割合について、年代により大きな差がみられる

「よく読む」が6.0%、「時々読む」が28.6%となっており、積極的に読む層は34.6%となっている。また、「あまり読まない」が20.9%、「全く読まない」が42.3%となっている。

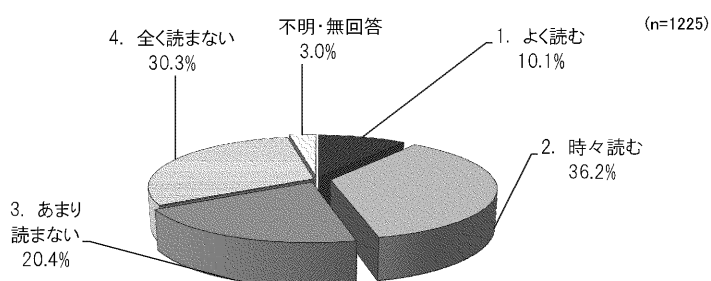
前回調査の結果と比較すると、「よく読む」、「時々読む」を合わせた割合が10ポイント以上減少している一方、「あまり読まない」、「全く読まない」を合わせた割合が10ポイント以上増加している。

性別でみると、女性の方が積極的に読むと回答した人の割合が高くなっている。

年代別でみると、年代が上がるほど積極的に読むと回答した人の割合が高くなっている。「全く読まない」については、70歳以上で19.6%となっているのに対し、20歳代は77.8%となっており、年代により大きな差がみられる。

参考

前回(平成17年調査)『市民しんぶんの人権に関する記事や、人権情報誌「あい・ゆーKYOTO」を』

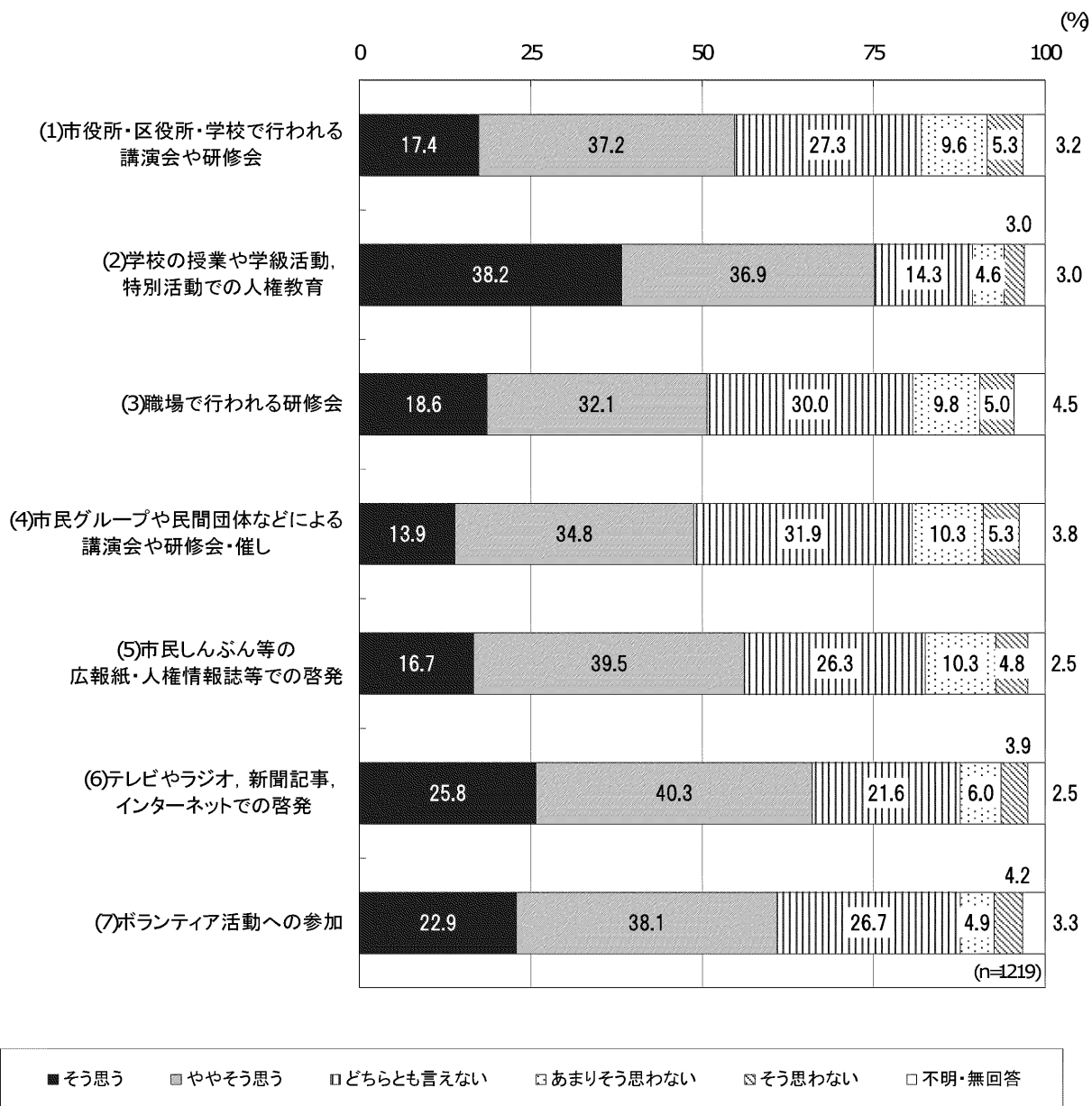


◆クロス集計(性別・年代)

(%)

	男 (n=510)	女 (n=696)	20歳代 (n=108)	30歳代 (n=168)	40歳代 (n=182)	50歳代 (n=203)	60歳代 (n=270)	70歳以上 (n=281)	全体 (n=1219)
よく読む	5.5	6.2	0.9	4.8	2.2	4.4	5.2	13.2	6.0
時々読む	26.5	30.3	6.5	17.9	25.3	23.6	37.4	41.3	28.6
あまり読まない	18.8	22.6	13.0	16.1	22.0	23.2	23.3	22.8	20.9
全く読まない	47.6	38.8	77.8	61.3	50.0	47.8	31.5	19.6	42.3
不明・無回答	1.6	2.2	1.9	0.0	0.5	1.0	2.6	3.2	2.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問4 人権についての理解を深めるため、下記の項目は役に立つと思われますか。
あなたの考えにあった選択肢を選んでください。《○はそれぞれ1つ》



学校の人権教育が役に立つと考えている人が7割を超える

「(2) 学校の授業や学級活動、特別活動での人権教育」について、「そう思う」と回答した人が38.2%、「ややそう思う」と回答した人が36.9%と、これらを合わせると、7割以上の人が学校の人権教育が役に立っていると思っている。

続いて、「(6) テレビやラジオ、新聞記事、インターネットでの啓発」、「(7) ボランティア活動への参加」についても、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人を合わせると6割を超えている。

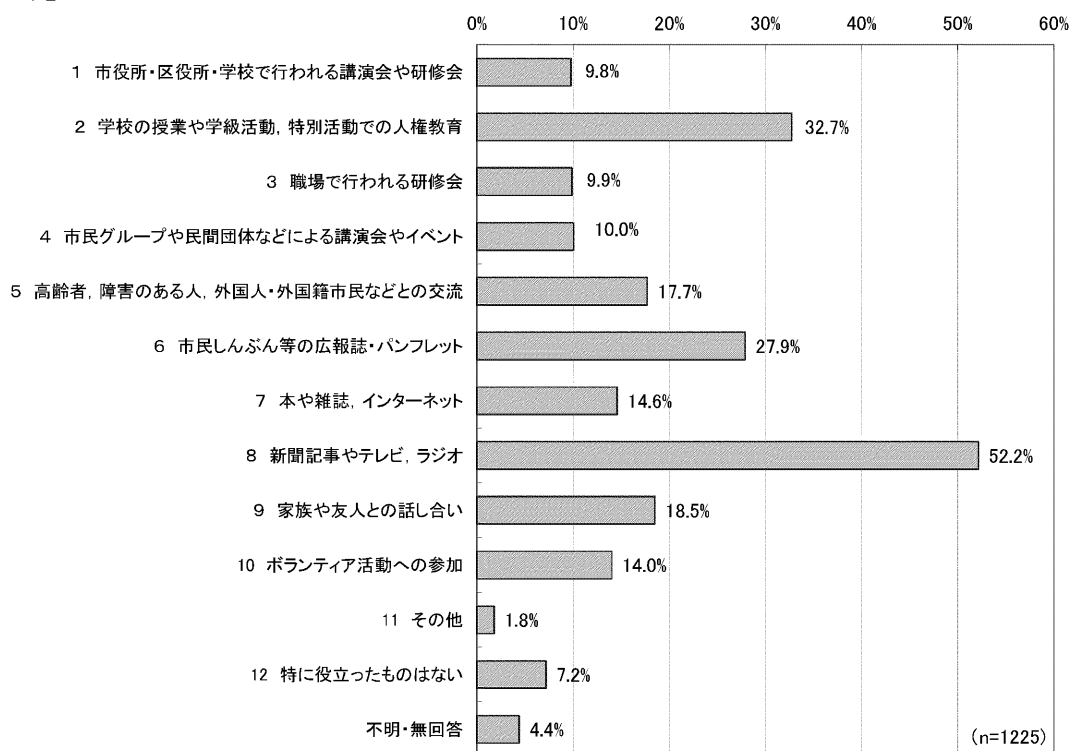
前回調査とは、回答形式をはじめ、質問文、選択肢等が異なるため、単純な比較はできないが、学校での人権教育について役に立つと回答した人の割合が比較的高くなったと考えられる。

性別でみると、全ての項目で女性の方が「役立ったと思う」と回答した割合が高くなっている。

参 考

前回(平成 17 年調査)

『人権についての理解を深めるのに、役立ったと思われるものはどのようなことですか(〇は3つまで)』

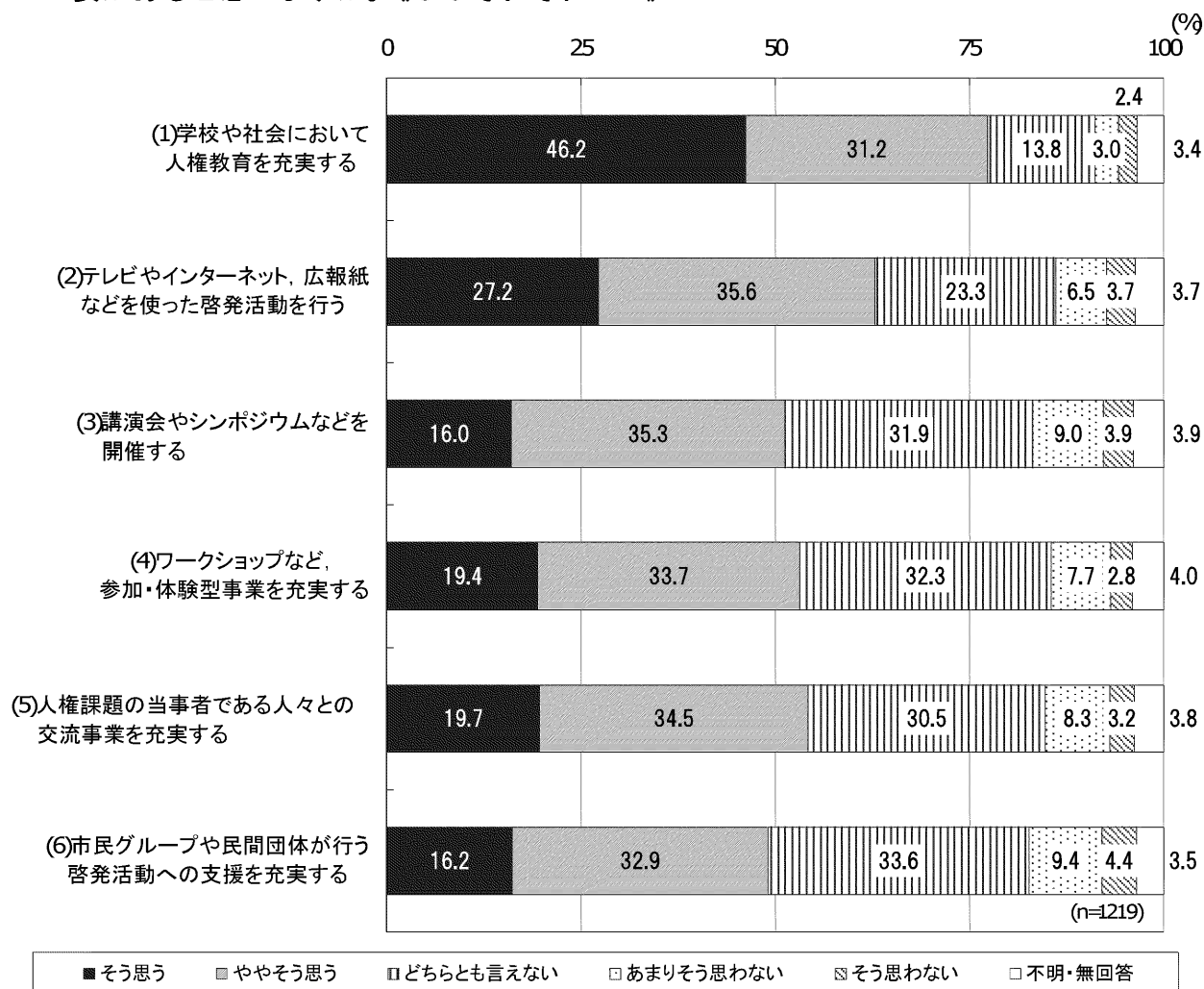


◆加重平均(性別・年代)

	男 (n=510)	女 (n=696)	20歳代 (n=108)	30歳代 (n=168)	40歳代 (n=182)	50歳代 (n=203)	60歳代 (n=270)	70歳以上 (n=281)	全体 (n=1219)
(1)市役所・区役所・学校で行われる講演会や研修会	0.46	0.60	0.36	0.49	0.56	0.51	0.53	0.67	0.54
(2)学校の授業や学級活動、特別活動での人権教育	0.96	1.14	1.00	1.27	1.17	1.08	0.93	1.01	1.06
(3)職場で行われる研修会	0.49	0.54	0.42	0.46	0.51	0.47	0.56	0.62	0.52
(4)市民グループや民間団体などによる講演会や研修会・催し	0.37	0.49	0.19	0.37	0.46	0.36	0.47	0.60	0.43
(5)市民しんぶん等の広報紙・人権情報誌等での啓発	0.45	0.61	0.10	0.34	0.51	0.39	0.70	0.85	0.54
(6)テレビやラジオ、新聞記事、インターネットでの啓発	0.72	0.86	0.68	0.72	0.88	0.83	0.79	0.84	0.80
(7)ボランティア活動への参加	0.62	0.82	0.63	0.86	0.80	0.73	0.68	0.70	0.73

※「そう思う」:2 「ややそう思う」:1 「どちらとも言えない」:0 「あまりそう思わない」:-1 「そう思わない」:-2 で算出

問5 人権についての理解を深めるために、京都市として、次の取組について力を入れる必要があると思いますか。《○はそれぞれ1つ》



学校や社会での人権教育に力を入れる必要があると考える人は約8割

「(1) 学校や社会において人権教育を充実する」について、「そう思う」が46.2%、「ややそう思う」が31.2%と、これらを合わせて8割近くの方が力を入れるべきと考えている。

また、「(2) テレビやインターネット、広報紙などを使った啓発活動を行う」についても6割を超える人が力を入れる必要があると回答している。

問3とのクロス集計で、市役所・区役所・学校の講演会や研修会に参加した人の方が、様々な人権に関する取組について力を入れるべきと考える傾向がある。

参加したことがない人は、参加した人と比較すると、様々な人権に関する取組について力を入れるべきと考える人は少ない傾向にあるが、「学校や社会において人権教育を充実する」の回答については、加重平均で1.16と他の項目を大きく上回っており、講演会や研修会に参加していなくても、人権教育については、力を入れる必要があると考えている人が多い。

◆加重平均(性別・年代)

	男 (n=510)	女 (n=696)	20歳代 (n=108)	30歳代 (n=168)	40歳代 (n=182)	50歳代 (n=203)	60歳代 (n=270)	70歳以上 (n=281)	全体 (n=1219)
(1)学校や社会において人権教育を充実する	1.12	1.27	1.25	1.23	1.28	1.19	1.12	1.20	1.20
(2)テレビやインターネット、広報紙などを使った啓発活動を行う	0.76	0.82	0.62	0.67	0.81	0.87	0.80	0.87	0.79
(3)講演会やシンポジウムなどを開催する	0.45	0.59	0.22	0.40	0.49	0.49	0.61	0.71	0.53
(4)ワークショップなど、参加・体験型事業を充実する	0.50	0.72	0.47	0.61	0.72	0.65	0.63	0.58	0.62
(5)人権課題の当事者である人々との交流事業を充実する	0.56	0.67	0.70	0.64	0.68	0.58	0.51	0.67	0.62
(6)市民グループや民間団体が行う啓発活動への支援を充実する	0.43	0.53	0.28	0.36	0.40	0.43	0.56	0.70	0.49

※「そう思う」:2 「ややそう思う」:1 「どちらとも言えない」:0 「あまりそう思わない」:-1 「そう思わない」:-2 で算出

◆クロス集計 グラフ(加重平均)

市や区、学校の講演会や研修会に参加した人・参加していない人が、人権について理解を深めるために必要と思う取組

問3 人権についての催しへの参加回数や、市民しんぶん等への記事への関心についてお尋ねします。 (1)市役所・区役所・学校で行われる講演会や研修会に 1 1～2回参加した 2 3～5回参加した 3 6回以上参加した 4 参加したことがない	×	問5 人権について理解を深めるために、京都市として、次の取組について力を入れる必要があると思いますか そう思う……………2点 ややそう思う……………1点 どちらとも言えない……………0点 あまりそう思わない……………-1点 そう思わない……………-2点
--	---	--

